

熊本都市計画土地区画整理事業の決定 (菊陽町決定)

都市計画原水駅周辺地区土地区画整理事業を次のように決定する。

名 称		原水駅周辺土地区画整理事業		
面 積		約62.6ha		
公共施設の配置	道 路	種 別	名 称	
		幹線街路	杉並木公園線	
		〃	菊陽空港線	
		〃	下原堀川線	
		〃	新駅停車場線	
		〃	新駅北口交通広場	
		<p>上記の都市計画道路を骨格として、宅地の利用増進や円滑で安全な道路ネットワークの形成を図るため、区画道路を配置する。</p> <p>また、歩行者の安全の確保と歩行者動線の形成を目的とした歩行者専用道路を配置する。</p>		
公共施設の配置	公園及び緑地	種 別	名 称	
		総合公園	菊陽杉並木公園	
		公園は土地利用計画や周辺環境等に配慮し、適宜配置する。		
その他の公共施設		地区内の雨水排水については、道路側溝及び雨水幹線暗渠により集水し、調整池に流入させ、地下浸透する計画とする。また、本地区を横断する既設用排水路については、切替水路を整備し、その機能を確保する計画とする。		
宅 地 の 整 備		本地区の土地利用計画については、原水駅周辺を「職住近接エリア」、新たに設置する駅周辺を「賑わいエリア」、地区中央部を「知の集積エリア」として、本町の新たな拠点的市街地の形成にふさわしい土地利用を図る。		

「施行区域は計画図表示のとおり」

理　　由

本地区は、熊本市と阿蘇方面・大分市を結ぶJR豊肥本線の原水駅と新設の駅の北口の他、総合公園菊陽杉並木公園等を含む、広域的な交通機能や町の中核となる拠点機能を担う重要な位置にある。

原水駅から北東約2kmの位置には、半導体企業等が集積する工業団地があり、近年では半導体受託生産最大手となる企業が立地する等、経済発展の場として成長を続ける産業生産拠点が位置している。一方、地区の西側にある総合公園菊陽杉並木公園は、憩いの場の機能に加えて、新たな賑わいの拠点として、機能の充実・拡張に向けた取組が進んでいる状況にある。

このようなことから、産業生産拠点（工業団地）を支える居住・生活の機能や、鉄道駅からの交通結節機能の強化、新たな賑わいの拠点の機能が持続的に発展すること等に留意した、本町の新たな拠点的市街地の形成が必要となっている。

これらの状況を背景に本事業は、都市の骨格となる東西幹線道路や駅前広場、駅と幹線道路を結ぶ停車場線の整備に加えて、区画道路や公園等の整備により、良好な都市基盤を整え、本町のまちづくりにおいても必要不可欠な土地利用を実現するため、原水駅周辺土地区画整理事業を本案のとおり定めるものである。